

1 事業の目的

県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、環境情報の発信、環境学習講師の派遣等を行うことにより、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境にやさしいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ脱炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会を目指す。

2 業務の内容

2-1 必須業務

(1) 環境活動や環境学習に関する情報発信

県民が環境活動に参加するきっかけづくり、県内で環境活動を行う個人・団体への支援として、次の業務を行う。

ア ホームページの管理運営

ホームページにより、広く県民に対して次に掲げる情報を管理のうえ提供を行う。

なお、ホームページは現行のものを運用及び保守するものとするが、その運用については受託者が管轄するサーバー上で行うこと。また、掲載している内容については随時更新を行うとともに新規情報の収集・登録を行うこと。

- ① 環境活動団体及び環境学習講師のデータベース
- ② 環境学習に係る施設、各種資料（書籍、DVD 他）等
- ③ 県内で実施される体験型の学習イベントや環境関係のイベント情報
- ④ 高知県環境活動支援センターが実施する各種事業の内容

イ ホームページ以外の情報提供

様々な媒体を活用し、環境教育、環境活動等に関する情報の提供を行う。

(2) 地域や教育現場における環境学習の支援

地域や教育現場で実施される環境学習の支援や県民への環境学習機会の提供の拡大を目的として、次の業務を行う。

ア 環境学習講師の紹介・派遣

- ① 環境保全や環境学習に取り組む学校や県民からの相談に対し、適切な環境学習講師の紹介を行うとともに、派遣日時、内容等を含めた全体の調整を行う。
- ② 上記①の相談者が講師の謝金、旅費等を負担しえない場合に限り、講師に活動費等を支給する。
- ③ 環境学習の受講者数が令和10年度までに年間2,800人以上となることを目指して、学校等に対して積極的な活用促進を呼びかける。

イ 環境絵日記コンテストの実施

県内の小学生を対象に、子どもたちが夏休みに環境について考え、行動した経験を絵日記に表現することで、環境への意識や理解を育むことを目的とした「環境絵日記コンテスト」を下記により実施する。

- ① 選考委員会を設置し、作品のテーマやスケジュール、賞（名称や受賞者数等）の内容、選考基準、選考方法、受賞作品等について決定
- ② 募集チラシ及び応募用紙の印刷・配布
- ③ 入賞作品の発表・広報
- ④ 表彰式の開催（賞状、記念品等の準備、記念撮影含む。）
- ⑤ 受賞作品の展示会等の開催
- ⑥ その他
 - ・全国環境絵日記実行委員会との協力・連携（作品の電子データ化のための作品の送付、横浜市開催の環境絵日記展への作品展示等）
 - ・応募者への参加賞の提供
 - ・応募作品の地域での活用

ウ こどもエコクラブ事業

子どもたちの地域での環境保全活動や環境学習に対する支援として、「こどもエコクラブ」事業を下記により実施する。

- ① 「こどもエコクラブ」の県事務局及び市町村に事務局がない区域の市町村事務局としての業務（登録、更新、全国事務局からの各種案内等の配布、提出の取りまとめ等）
- ② 各こどもエコクラブの情報交換、活動内容の紹介等を目的とする交流会の開催
- ③ こどもエコクラブの活動のPR
- ④ 新規登録の推進

(3) 生物多様性地域戦略推進事業

県では、生物多様性の保全と持続的な利用に関する総合的な指針として「生物多様性こうち戦略【2024改定版】」を策定し、「生物多様性こうち戦略推進リーダー※1」（以下「リーダー」という。）の育成とその活動支援に取り組んでいる。本事業では、そうした取組を支援するとともに、リーダー登録者数の目標（令和10年度末150人）の達成と現リーダーのさらなるスキルアップを図り、環境活動を指導・けん引する次世代の担い手の育成を目指して、次の業務を行う。

※1 生物多様性こうち戦略推進リーダー

高知県における生物多様性を支え、次世代につなぐ仕組みと基盤をつくるために、生物多様性の保全や普及、担い手育成、各主体間の連携促進や地域資源の発掘・活用に関して専門性を有する先導的な人材を「生物多様性こうち戦略推進リーダー」として知事が登録する制度を平成28年12月から開始し、登録を呼びかけている。令和7年12月時点の登録者数は133名。

ア リーダー養成講座の開催

生物多様性の意義や保全及びリーダーの役割等についての講座を開催する。

- ① リーダーを養成するための講座の開催（年1回以上開催、1回半日程度の講座）
- ② 講座の広報・受講者の募集
- ③ 講師及び会場の手配、講座で使用するテキストの作成等、講座開催に関する一切の業務
- ④ 新規登録の推進

イ リーダー活動現場体験ツアーの実施

リーダーが活動している現場への体験ツアーを実施し、地域における生物多様性保全や環境学習の担い手となる人材を育てる。

- ① ツアー先の選定（リーダー登録者から選定）
- ② 年1回以上開催
- ③ ツアーの広報・参加者の募集
- ④ ツアー先との調整等ツアー実施に関する一切の業務

ウ リーダースキルアップ講座の開催

既に登録されているリーダーを対象に、リーダー自身の知識や技術のさらなる向上のほか、個々の活動団体が抱える課題の解決等をテーマにした講座等を開催し、リーダー自身のスキルアップを図るとともに、リーダー相互の交流機会を創出することで、各リーダーの活動の広がりにつなげる。

- ① リーダーを対象としたスキルアップ講座の開催
- ② 年2回以上開催
- ③ 講座の広報・参加者の募集
- ④ 講師及び会場の手配、講座で使用するテキストの作成等、講座開催に関する一切の業務

2-2 自由提案業務（実施は必須だが、内容は自由提案とする業務）

(1) 生物多様性の意義の普及・啓発

「生物多様性」という言葉とその価値・重要性を理解し、一人ひとりのライフスタイルが生物多様性に配慮した行動に変わっていくような普及啓発イベント等を実施する。

(2) 環境団体支援事業

環境団体を支援する事業を実施する。

2-3 任意提案業務（実施及び内容について任意提案とする業務）

(1) 上記以外の環境保全、環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援等に資する業務

2-4 進捗管理

(1) 外部運営委員会の開催

本事業を実施するにあたり、外部運営委員会を組織して年1回以上会議を開催し、業務内容や運営方法等について意見を聴くこと。

(2) 県との打ち合わせ

業務内容、運営方法等について県と協議する会を年4回以上開催すること。

2-5 その他

- (1) 「高知県環境活動支援センター」を広く県民に周知するため、積極的なPR活動を行うこと。
- (2) 各業務を進めるに当たっては、リーダー等の人材を積極的に活用するよう努めること。
- (3) リーダー養成講座等の開催に当たっては、オンライン配信による開催又はオンライン配信との併用での開催を検討することとし、そのために必要な資機材等を備えること。
- (4) 本事業において実施した業務の内容やその成果を年度ごとにとりまとめ県へ報告すること。また、本事業の普及啓発に資するよう冊子等を作成、活用すること。